

06J. 業務分析設計概説 ～システム開発における要件定義のまとめ方～

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	出島交流会館(確定)
・講師	富士通九州システムズ(FJQS)講師:菊川 直之氏
・開催月日	H27年07月08・09・10日(水)・(木)・(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

システム開発で顧客要件の定義作業に携わる必要のある方。

3. カリキュラムの概要

情報システム開発における要件定義のうち、業務要件定義を中心に、必要な技法、作業手順や主な成果物を講義と演習で学習します。情報システム開発における要件には大きく、経営要件、業務要件、システム要件があります。業務要件を明確に定義するには、その前提となる経営要件を確認したり、後続するシステム要件との関係についても理解しておく必要があります。それぞれの関係や重要性、作業手順、主な成果物などについて学習します。また、次工程で行うシステム設計とのつながりについても学習します。演習では、事例業務について経営要件を把握し、業務要件やシステム要件を定義します。グループでのディスカッションや成果物の作成により、さまざまな考え方や気付きを得ることができます。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1. システム開発における要件定義の意義と必要性	1.5	・システム開発における要件定義の意義 ・システム開発における要件定義の必要性
2. 事業要件定義作業の進め方	1.0	・システム開発の工程と要件定義 ・企画工程で定義する事業要件に関する作業 ・企画プロジェクトの編成 ・情報化方針の設定 ・情報化テーマの設定 ・情報化計画の作成
3. 業務要件定義作業の進め方	4.0	・業務要件の定義に関する作業 ・要件定義プロジェクトの編成 ・現状業務の調査・分析 ・問題分析と新たな業務目標の明確化 ・目標を実現する手段検討 ・新規業務の検討
演習	3.5	演習問題0 現行業務の調査とまとめ 演習発表、評価
4. システム要件定義作業の進め方	1.5	・システム要件の定義に関する作業 ・システム化業務フローの定義 ・システム要件の定義
演習	3.5	演習問題1 事業要件を受けた業務要件のまとめ 演習発表、評価
演習	3.5	演習問題2 業務要件を受けたシステム要件のまとめ 演習発表、評価
5. 設計工程へのつなぎとシステム設計	1.5	・設計工程へのつなぎ ・システム設計の概要
付録	1.0	・2-4-2-3の経験則 ・要件定義を難しくする要因 ・要件定義の留意事項 ・要件定義で用いられる主な技法
計	21.0Hr	

5. 使用教材

業務分析設計概説～システム開発における要件定義のまとめ方～(富士通ラーニングメディア)
追加演習の「演習〇は弊社講師が新規に作成いたします」(富士通九州システムズ)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 経営要件、業務要件、システム要件の関係を理解する。
2. システム要件を定義する際に、経営要件を確認したり、業務要件を定義する重要性を理解する。
3. 経営要件として確認すべき内容を理解する。
4. 業務要件の定義について作業手順や主な成果物について理解する。
5. システム要件の定義における作業手順や主な成果物について理解する。
6. 開発するシステムを見積もる方法の種類と概要を理解する。

7. レベル

ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]システム要件定義技法【レベル: 1-2】

ITSS:ソフトウェア開発プロセス基礎【レベル: 1-2】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名